



最初にお読みください

CentreCOM® 9424T リリースノート

この度は、CentreCOM 9424T をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.11.2J

2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン2.11.1Jから2.11.2Jへのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

2.1 ポートトランキング

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「ポート」

トランクポートに接続された機器の MAC アドレスを、SNMP 経由で取得できるようになりました。

3 本バージョンで仕様変更された機能

ファームウェアバージョン2.11.1Jから2.11.2Jへのバージョンアップにおいて、以下の仕様変更が行われました。

3.1 ログ

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ログ」

未サポートの LACP パケット受信時に「lACP: LACPDU Dropped as LACP is disabled」というログを出力していましたが、出力しないように仕様変更しました。

4 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン2.11.1Jから2.11.2Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 4.1 ログ出力をとまなうパケットを高負荷で受信した場合に、CPU を介する通信ができなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 4.2 同じ IP アドレスを異なる MAC アドレスの端末で使用すると、SNMP 用の ARP テーブルが更新されないため、SHOW IP ARP コマンドで表示される値と ipNetToMediaTable の値に不一致が発生していましたが、これを修正しました。
- 4.3 CREATE ACL コマンドでポートあたりの最大数（128 個）を超えるクランファイアを指定した場合、コマンドがエラーになるにもかかわらず、該当コマンド行で指定したクランファイアが不正な状態で ACL に登録されていましたが、コマンドがエラーになる場合は ACL の登録が行われないよう修正しました。

- 4.4 同一ポート上で 802.1X 認証と MAC ベース認証を併用しているとき、特定の Supplicant に対する認証方式が 802.1X 認証から MAC ベース認証に切り替わっても、802.1X 認証で使っていた State 属性値を RADIUS サーバーに送信していたため認証が正常に行われないうことがありましたが、これを修正しました。
- 4.5 TTL=1 の RIP パケットを受信した場合、RIP パケット内の経路情報を経路表に登録せず、このパケットを破棄していましたが、これを修正しました。

5 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 2.11.2J には、以下の制限事項があります。

5.1 SNMP

 **「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」**

- 複数の SNMP マネージャーから同時にプライベート MIB の取得を繰り返し行っていると、本製品の SNMP エージェントが応答しなくなる場合があります。
- ipAdEntIfIndex および ifIndex には、物理ポート数 + (VLAN ID × 16) の値が付与されます。

5.2 複数ポートから 1 ポートへの通信

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」**

Jumbo フレームを複数ポートから 1 ポートに対して同時に送信すると、受信した 1 ポートからフレームが転送されません。

5.3 ポート認証

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「ポート認証」**

- SET PORTAUTH PORT コマンドの MODE パラメーターに MULTI、CONTROL パラメーターに AUTHORISED を指定しているとき、SHOW PORTAUTH (PORT) コマンドでサブリカント数が正しく表示されない場合があります。
- Authenticator ポートに、ADD SWITCH FILTER コマンドによるスタティック MAC アドレスの登録が可能です。登録されたスタティック MAC アドレスで通信をすることはできません。
- ダイナミック VLAN で、認証されたポートを別の MST インスタンスに所属する VLAN に指定した場合、同一 VLAN 内でも通信ができなくなります。

5.4 DHCP Snooping

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「DHCP Snooping」**

DHCP Snooping の ARP セキュリティ (ENABLE DHCPSPNOOPING ARPSECURITY コマンド) と Web 認証の ARP/TCP/UDP パケット透過 (SET PORTAUTH PORT コマンドの ARPFORWARDING/TCPFORWARDING/UDPPORTFORWARDING パラメーター) は併用できません。

5.5 バーチャル LAN

 **「コマンドリファレンス」 / 「バーチャル LAN」**

イングレスフィルタリング無効の状態では 2 つの VLAN を作成した場合に、双方のタグなしポート間で、VLAN を超えてフレームを転送してしまうことがあります。

5.6 IP

 **「コマンドリファレンス」 / 「IP」**

IP ヘッダー長が 24Byte 以上あるルーティングパケットがルーティングされずに破棄されます。

6 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

取扱説明書、および「CentreCOM 9424T コマンドリファレンス 2.11 (613-001210 Rev.D)」の補足事項と誤記訂正です。

6.1 本製品起動時のご注意

本製品の電源をオンにしてから起動が完了するまでの間は、電源ケーブルを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。

6.2 CD-ROM (英文マニュアル) について

 「取扱説明書」14 ページ

取扱説明書 14 ページの「梱包内容」に「CD-ROM (英文マニュアル)」の記載がありますが、CD-ROM の同梱は廃止されましたので、訂正してお詫びいたします。

なお、初期生産時に同梱されていた英文マニュアルの記載内容は、サポート対象外です。日本語版マニュアルのみにしたがって、正しくご使用ください。

6.3 壁設置ブラケット「AT-BRKT-J22」

 「取扱説明書」15 ページ

取扱説明書に記載がありませんが、本製品は壁設置ブラケット「AT-BRKT-J22」に対応しています。設置方法および取り付け可能な方向は弊社ホームページに公開していますので、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

7 未サポートコマンド (機能)

以下のコマンド (機能) はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

SET PORTAUTH PORT {FORCERENEWING={ENABLED|DISABLED}}
PURGE/SHOW PKI
SET PKI CERTSTORELIMIT
SHOW IP ROUTE FDB
SET BOOTP RELAY MAXHOPS

8 コマンドリファレンスについて

最新のコマンドリファレンス「CentreCOM 9424T コマンドリファレンス 2.11 (613-001210 Rev.D)」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、あわせてご覧ください。

コマンドリファレンスのパーツナンバー「613-001210 Rev.D」はコマンドリファレンスの全ページ (左下) に入っています。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>